広島平和記念式典派遣事業 × 都市間交流

次世代の若者を育てる、ひと夏の体験

市内の小中学生が、広島平和記念式典や姉妹都市・友好交流都市との各種交流事業に参加し、現地の歴史や文化を学びました。

広島平和記念式典派遣事業

平和の尊さを学んだ3日間

8月5日から7日にかけて市内各中学校の代表生徒12人が原爆投下から73年目となる広島市に派遣され、生命や平和の尊さ、戦争の恐ろしさを学びました。

生徒たちは、被爆体験者の講話を聴講し、他県の中高生とグループディスカッションをするなど、核兵器のない世界の実現について考えました。また、広島平和記念式典に参列し、各中学校の全校生徒で制作した折り鶴を「原爆の子の像」に献呈し、恒久平和の実現を願いました。

都市間交流

（姉妹都市・友好交流都市との交流）

姉妹都市・北海道松前町

8月1日から3日にかけて、梁川中学校の生徒5人が松前町を訪問し、松前中学校の生徒と交流しました。

松前氏梁川藩の家老で絵師であった、蠣崎波響（かきざきはきょう）の絵を通して地域の歴史や文化への理解を深めるなど、それぞれのまちの将来を担う中学生同士が友情を育みました。

友好交流都市・滋賀県草津市

市内の小学生11人が、8月2日から5日まで草津市を訪れ、自然体験や歴史探索などの活動を通して、草津市の小学生と交流を深めました。

琵琶湖の有人島「沖島」では、住民から沖島の暮らしや歴史を学び、地域の特色について理解を深めました。

友好交流都市・長野県南牧村

7月31日から8月3日の4日間、市内の小学生39人が南牧村の野辺山高原で、自然体験などを行いました。

同村の滝沢牧場では、牛の乳しぼりやアイスクリームづくりなど、酪農を体験。このほか、南牧村の小学生たちとスポーツやキャンプファイヤーを楽しみ、自然の中でのびのびと交流しました。

1. 松前町は書道が盛ん。うちわ作りで交流を深める /2. かつて宿場だった草津市の歴史を学ぶ /3. 南牧村の産業のひとつである酪農を体験